

と しょ かん 宇 治

No. 26

1992年2月1日発行

宇治市中央図書館

宇治市文化センター内

〒611

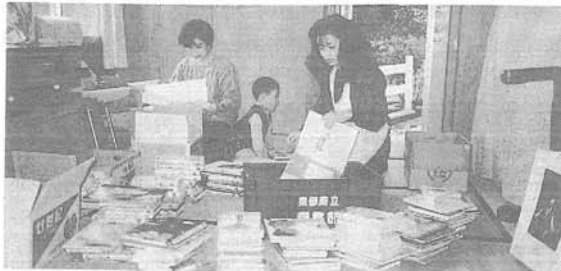
宇治市折居台1丁目1番地

電話 (20) 1511

「こんにちは、図書館です。本の入れ替えにきました。」と声をかけると、「ハイ、今日はおはようど、文庫の日で本を借りにくる子供たちもいるんですよ。」と明るい声。
さて、本の入れ替えをしていると、黄色の手さげ袋をもったかわいい女の子や赤いほっぺの小さな男の子の手をひいた若いおかあさんがやってきました。図書館の本をみて、「新しい本がきたんですね。この次には借りられますね。」とニコニコ顔。

昭和五十年、テレビやマンガの氾濫する中で「読書のもつ楽しさ、喜びを知ってほしい」というおかあさん方の素朴な願いから宇治市にも「文庫」が生まれました。個人の家庭を利用して開かれているのが「家庭文庫」。地域の公民館や集会所で開かれているのが「地域文庫」です。最初は一つだった文庫も、現在では十七文庫に加え、本の貸し出しを中心に、読みきかせをしたり、手作りのおもちゃを作ったり、

図書館から文庫へ貸出



七夕祭りやクリスマス会を催すなど、子どもの生活に目をむけ、地域の子どもたちのすこやかな成長を願う幅広い活動がなされています。
図書館では、「文庫」を利用する子どもたちに、よりよい本を読んでもほしいと願っています。昭和五十二年九月より文庫に「団体貸出」として、本を貸し出すようになりました。当時、この団体貸出分として一〇〇冊足らずの蔵書冊数でしたが、現在では二八〇〇冊あまりになりました。春と秋に職員が文庫を訪問して入れ替えをするのですが、一文庫に

一六〇冊を貸し出せるようになり、今後ますます充実させていく予定です。
文庫が開いている時、お子さんをつれてちょっとのぞいてみませんか？「ほかほかのあったかい心」になることうけあいですよ。

◎ 宇治市内の文庫一覧 ◎

くわしくは代表者にお問い合わせください。

文庫名	開設場所	連絡先	文庫名	開設場所	連絡先
大開文庫	三軒家集会所	山下 22-1015	南山子ども会児童文庫	東木幡集会所	須賀 32-6131
ひろの文庫	広野集会所	山口 43-5228	御蔵山どんどん文庫	御蔵山集会所	星野 31-5341
にんじん文庫	旦棕公会堂分館	立石 43-0938	あひる文庫	西木幡集会所	安木 33-0263
南陵子ども文庫	南陵旧集会所	大西 23-1673	虹の文庫	生協東宇治センター	村上 33-0210
西小倉子ども文庫	西小倉集会所	金井 22-5094	平尾子ども文庫	平尾集会所	浜本 32-0659
新半白子ども文庫	新半白集会所	江崎 22-2360	菟道みどり文庫	菟道集会所	竹村 21-2960
木幡りす文庫	木幡公民館2F	滝田 31-5387	みつばち子ども文庫	南山集会所	園田 32-4568

図書館の仕事シリーズ ⑥

移動図書館



☆そよかせ号は走ります!

「図書館を利用したいのだけけど家からは遠くて……」
と思われる方のために、市内を走っているのが移動図書館そよかせ号です。そよかせ号のステーションは、中央図書館から半径一・五km以上離れた安全な駐車場があり、かつ一定数の利用が見込める地域に設置されています。「図書館の本はいつでも、どこでも、誰でも借りることができる」のが原則ですが、中央図書館だけではその役割を果たすことはできません。気軽に利用するには、歩いて行ける距離に図書館があることが必要です。今年秋に東宇治分館(仮称)がオープン

の予定ですが、歩いて行ける距離で図書館を利用できる人はまだまだ限られています。そよかせ号は宇治の街をこれからも走り続けることでしょう。

☆そよかせ号の一日は……

そよかせ号が巡回する予定のある一日をご紹介します。まず、車内の書架を補充したり、そのステーションでよく借り出される本を考慮して本の入替えを行います。そして、コンピュータの端末に予約本と利用者のデータを入力します。これで予約された本が返却される「ピーッ」という音が鳴り、予約者がいることを知らせてくれるようになっていきます。準備ができた予約本は電話連絡をし、後は出発を待つばかりとなります。ステーションに着くと準備の後、業務開始。返却カウンターに置かれた本は返却処理後、分類毎に一時分けられ、適宜車内の書架に戻していきます。予約本はとり置き、



予約された人に回ります。また、本館の本はそのまま持帰り、翌日、中央図書館に配架されます。貸出カウンターは前で、初めて貸出券を作る人や予約・リクエストの申込みもそちらで受け付けます。巡回を終えて帰館すると、その日の貸出・返却のデータをコンピュータ本体に流し込み、その日のそよかせ号の仕事は終わります。

☆本を選ぶ
図書館では「本を選ぶ」という仕事は大切な仕事の一つです。移動図書館でも本館と同様、新しく出る本のうちから、たくさんの方の利用が見込める本や生活に役立つ本、そして子供の創造力を養い、読書意欲を高める読みものや絵本などを中心にたくさんの方の本を購入しています。また、図書館の蔵書にない本はリクエストとして受け付け、書籍目録で書名等を確認の上、書店に注文します。また、現在手に入らない本は京都府立図書館などから借りて、できるだけご要望にそよう努力しています。このよ



うに購入した新刊本とリクエストの本のすべては三カ月に一回、「新书推荐」として利用される方のお手元にお届けしています。

☆いつでも、どこでも……

そよかせ号は市民の皆さんがお気軽にご利用していただく移動図書館です。二十五カ所のステーションのどこで借りても、どこで返しても結構です。もちろん、中央図書館で借りた本をそよかせ号へ返したり、そよかせ号の本を中央図書館へ返したりもできます。また、予約・リクエストは電話でも受け付けています。カセットブックや外国絵本も予約していただければ、ご希望のステーションへ持参します。「いつでも、どこでも」そよかせ号をあなたの身近な書齋として、どうぞご利用ください。

図書館へようこそ

利用者にインタビュー

第14回

福山靖子さん

今回は『本が大好き、図書館も大好き』という福山靖子さん(高校一年生)にお話を伺いました。



☆小さい時から、よく図書館を利用していますね。

はい。小学校二年生からです。家が折居台で図書館に近いから、小学校のころは毎日のように来ていました。今は週に一回位しか来られませんが毎回十冊借ります。☆よく読みますね。勉強やクラブもあるだろうし、いつ読みますか。通学の車中や寝る前で、二時間程です。テレビは余り見ません。☆どんな本が好きですか。

コバルト文庫や赤川次郎なども読むし、マンガも好きだけれど、外国の児童文学作品、特にSFっぽいのがファンタジーが好きです。「ナルニア国物語」シリーズは何回も借りて、とうとう岩波少年文庫版を自分の小遣いで買いました。☆児童書コーナーには、中・高校生にすすめる本も沢山ありますね。

ええ、私は高校図書館も利用しているから司書の先生におもしろい本を教えてくださいたり、本のガイドブックを借りて読みたい本をリストアップして次々と読んでいますが、読みごたえのある本が多いです。小さい時に読んだ本も読みかえすと、今でも難しい内容がありますよ。

☆友達と本の話をするか。時々。。。でも、本を読むのは面倒くさいとか、難しいという人もいますね。小・中・高校に必ず司書の先生がいて図書館が利用しやすかったら、本の好きな子供がふえると思うな。この図書館でも、内容を簡単に紹介したブックリストを作ったり、夏休みだけでも児童書コーナーに小机があって係の人と気軽に話ができるといいですね。☆どうもありがとうございます。ちなみに福山さんは将来、図書館の司書になりたいそうですね。

ひな祭りのルーツは

平安時代

読書週間記念講演会開催

読書週間記念講演会が十一月八日開催されました。今年のテーマは『源氏ロマン'91』にちなんで「源氏物語とひいなあそび」と題し、当館の石沢誠司館長が講演しました。

石沢館長は京都府立総合資料館で司書のほかに学芸員として「ひな人形展」を担当した経験をふまえ、ひな祭の起源を平安時代のひいなあそびに求めて、このあそびが描かれている源氏物語の各場面を具体的に紹介しました。



られることが指摘されました。当日は持参した同氏所有の立雛や各地のあねさまなどを手にとつての説明で、参加者も従来までのひな人形起源説(祓いの流し雛が起源)とちがった独自の説明にしばし千年前の平安時代に思いをはせているようでした。

国際ソロプチミスト宇治より二百万円寄付

このほど国際ソロプチミスト宇治から中央図書館へ図書購入費にと二百万円の寄付をいただきました。寄付は、ソロプチミスト宇治が発足十五周年(平成三年六月)を迎えた記念事業の一環で、例会で話し合い地域社会に役立つ物をと図書館への寄付を決められたそうです。ありがとうございます。

中央図書館では趣旨を生かし寄付金を、自動車文庫の図書、および地域児童文庫に対する団体貸出用図書の購入費として使わせていただくことにしました。図書館から離れていて利用しにくい地域へ、まもなく自動車文庫や地域文庫を通じて新鮮な図書が届きます。ご期待ください。

折々 NEWS



そびは、①貴族の日常生活を縮小化した模倣遊びであり、人形遊びとままたご遊びが複合されている、②ひいな御殿や調度を伴う、ことなどが特徴で、後に江戸時代に入つて三月三日に定着したひな祭の原型が見

郷土のはなし

旦 椋 神 社

大久保の旧集落、近鉄大久保駅の西南に、旦椋神社があります。祭神は、高御産巢日神・神御産巢日神・菅原道真で、この神社は大久保の産土神です。室町時代や江戸時代には、天神社あるいは粟隈天神と呼ばれていましたが、明治十年に式内社（平安時代に作られた「延喜式」神名帳に記載されている神社）旦椋神社となりました。

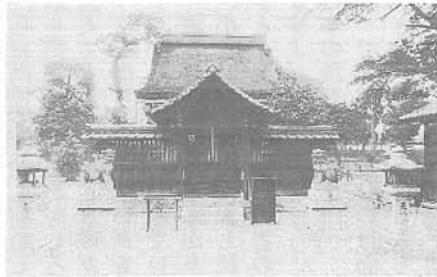
ところで旦椋という呼称の由来は、この地に、古代大和朝廷の直轄領（大和朝廷が直接支配した領地）の穀物等を納めた校倉（部材を横に組んで壁を作った倉）があり、あせくらがあせくらに転訛したものだ、と考えられています。

この地は、古代では粟隈郷に比定されており、粟隈には屯倉がおかれていました。そうしたことからこのように伝えが生まれたのでしょうか。ただ、現在の小字旦椋は、低地にあり、浸水しやすいところですので、この地に屯倉がおかれたとは考えにくく、もっと東方ではないか、といわれています。旦椋神社の祭神高御産巢日神・神

御産巢日神は、農耕の守護神であることから、旦椋神社は、屯倉の守り神として作られたのでしょうか。

もう一体の祭神菅原道真是学園の神としてよく知られ、他の二神体とはつながりがありませんので、もともとは高御産巢日神らを祭った旦椋神社と、菅原道真を祭った天神社とは別々で、のちに両社が合わせて一社になったと考えられています。

それ かくと 屯倉が置かれたことなどを考えると、大久保は古くから開かれた地域であったということができ、旦椋神社も古い神社と思われます。だからこそ延喜式に載せられたのでしょうか。現在の本殿は、延宝三年（一六七四）に建てられたもので、昭和六十年五月十五日に、京都府登録文化財に指定されました。機会があれば、ぜひ見学してください。



本をかりるには

(中央図書館の場所)

一 利用案内

- 市内にお住まいの方、市内に通勤通学されている方ならどなたでも1人5冊、かりられます。
- 貸出券は、中央図書館・移動図書館の共通券です。

中央図書館

- 貸出期間は、3週間です。
- 開館時間は、9時～17時です。
- 休館日は、毎週月曜日・毎月末日 国民の祝日・年末年始 土曜・日曜もあいています。

移動図書館〔そよかぜ号〕

- 月に市内25カ所を巡回しています。
- 日時・場所は、毎月1日号の市政だより「そよかぜ号」巡回日程をご覧ください。
- 次回巡回日に返却して下さい。



JR 宇治
京阪宇治 または
近鉄大久保から
「太陽が丘」
行バス乗車
「折居台」
バス停
下車すぐ

予約・
リクエストもできます。

編集後記

- 昭和五九年の開館以来、八回目の春を迎えました。
- よく利用いただきまして、ありがとうございます。

製本法のためかページがはずれる本が近ごろ多いようです。館としても十分気をつけておりますが、お借りになった本がいたりんだり汚れていた時は、セロテープを貼るなど手を加えず職員にお申出くださいようお願いいたします。